

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こども発達支援いんくる		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5か園	(回答数) 4か園
○事業者向け自己評価表作成日	20204年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員は、障害児支援についての熱意や知識、経験を有している。 ・訪問支援員は、保育士、公認心理師、言語聴覚士、社会福祉士などの国家資格を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援ツールを作成している。 ・アセスメントを丁寧に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員の更なるスキルアップを図るため、研修参加や自己研鑽を行っていききたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所は山口市の中心部に立地し、訪問先の保育施設等へのアクセスが容易である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市は市域が広く、遠方の方は児童発達支援のサービス利用が難しいため、保育所等訪問支援事業を優先的に対応している。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が通う園や家族との情報共有や連携を密にしている。 ・家庭や園との振り返りを丁寧に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が通う園の取り組みや方針に合う方法で支援を行っている。 ・保護者と園との橋渡しを行っている。 	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を希望する児童が多く、ニーズに答えきれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員は、児童発達支援事業との兼務で配置しているため、訪問できる日が限られており、すべてのニーズに対応できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員体制や職員配置の見直しを行い、少しでも多くのニーズに応えていきたい。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援いんくる
------	-------------

公表日 2024年12月1日

利用児童数 5人

回収数 2人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				2		・訪問支援に使用した教具、教材の説明を行います
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	1				・2024年10月より、相談スペース（面接室）を拡充しました。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			1		・当事業所の支援内容とガイドラインとの関連性等について丁寧な説明を行います。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。		1		1		・関連機関が実施する家族支援プログラムについての情報提供を行います。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1			1		・相談や相談の申し入れ等については、適宜対応できる体制をとっていることを周知していきます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1			1		・訪問支援当日に、再度、訪問先施設を訪問し、振り返りの時間を持っていることを周知していきます。
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2						

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		1		1	・支援の内容については、SNSを活用し、訪問当日に概要を報告するとともに、後日、文書を手交のうえ、報告するようにしています。 ・2024年12月に事業所のホームページを開設しました。今後、ホームページを活用して発信を行っていきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1			1	・訪問先の緊急時対応を確認し、従いながら支援を行います。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1	・保育所等訪問支援事業は児童が集団生活を保育機関等に出向いて支援を行う事業なので、訪問先の機関の安全確保のための計画に従いながら支援を行います。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2				
	28	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		2024年12月1日	
こども発達支援いんくる		利用児童数		利用児童数：5名 回収数：4件	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			・園での姿を直接見ていただき助言してもらえるので、実践しやすかった。 ・園での様子や保護者の意向を照らし合わせながら説明していただき、課題の優先順位を整理することができた	・引き続き、園での様子や困りごとに応じた集団生活適応のための支援について、提案等行っています。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			・対象児ともかかわっていただいたり、療育で使用しているおもちゃを見せていただいたりし、どのように支援したらよいか分かりやすかった。	・引き続き、園での様子や困りごとに応じた集団生活適応のための支援について、提案等行っています。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4			・わかりやすく回答していただけ助かっています。 ・園での様子を踏まえながら、すぐにできる支援方法を教えていただき、実行できることも多くありがたかった	・引き続き、園での様子や困りごとに応じた集団生活適応のための支援について、提案等行っています。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1		・園と保護者の方針の違い、専門的な視点から保護者に伝えていただいたことで、園の保育に理解を得ることができ、保護者との連携がとりやすくなった	・引き続き、園での様子や困りごとに応じた集団生活適応のための支援について、提案等行っています。
5 事業所からの支援に満足していますか。	3	1		・療育で使用している支援ツールを見せていただくことで、本時の興味や関心に気づくことができました。	・引き続き、園での様子や困りごとに応じた集団生活適応のための支援について、提案等行っています。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<p>(A園) 保護者の方とコミュニケーションが取れるよう心掛けてくださり感謝しています、振り返りや協議の時間の設け方については相談をさせていただきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>(B園) 対象児の課題や保護者の意向、支援方法等についての資料を作成していただいたり、療育で使用している用具をいただくなど、園に対しても細やかに支援していただき大変ありがたいです。今後とも、よろしく願いいたします。</p> <p>(C園) 園での様子を見て、支援につながる点、とても良いと思います。一对一の困りごとだけでなく、集団での姿からの必要な支援や助言はとても満足しています。</p> <p>(D園) 毎月来ていただきありがとうございます。いろいろなお話ができ、参考にさせていただくことも多く助かっています。今後ともよろしく願いいたします。</p>				<p>・今後とも訪問先施設と連携を取り合い、利用児童、利用児童の保護者、児童が利用する保育施設の三者に有益となる支援を行っていききたいと考えています。</p>	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名							公表日
こども発達支援いんくる							2024年12月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 整 運 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・訪問支援に使用する教具や教材等は児童の状況に合わせ自作等で対応している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用希望者は多数に上るが、経営上の問題から職員を配置することができないため、契約者数は7人とどまっている。	・保育所等訪問支援事業の報酬単価等の関係で、本事業の専任職員を配置できない状況である。専任職員が配置できるような報酬にしていきたいことを関係機関に要望したい。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・当事業所は2024年4月開設の事業所であり、今回が初めての自己評価である、今後参考にし、改善していきたい。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・今後、実施の検討を行ってきたい	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修の案内が周知され、積極的に参加している。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・法人が実施する「児童発達支援事業」「障害児相談支援事業」の担当職員も必要に応じて参画している		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・訪問先施設の意向等も取り入れ、実現可能な提案等を行っている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・フォーマル（標準化された検査等）なアセスメントは参考にとどめており、児童の行動観察や保護者や保育機関職員の面接等によりアセスメントを実施している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・訪問先の職員と振り返りを行うとともに、報告書を作成し、児童の様子と支援内容、保護者の思い等を職員間で共有している。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○					
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・当該市の保健所、地域自立支援協議会等と連携を取りながら支援を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・当事業所は2024年4月に開設の事業所で、就学による移行の実績がない。2025年4月に就学予定児童が一名いることから、就学による移行に際しては、情報共有等行っていきたい。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・地域自立支援協議会の子ども部会の役員を引き受けており、積極的に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・当事業所では家族支援プログラムを提供していないが、実施機関の紹介を行っている。 ・他機関の実施する家族向けの研修会等の情報提供を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・父母の会や保護者会等がない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	△	△		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	△	△		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・保育所等訪問支援事業で身体拘束を行うことは考えにくいですが、もし実施の必要が生じた場合には、定められた手順等により、実施の検討を行う。	